

開設記念講演会

「心」に響く出会いを求めて

新学科開設を記念して、講演会を行います。中高校生の保護者や教育関係者、関心のある方のご参加をお待ちしております。

「心の専門家」をどう考えるか

—支えあう関係と暮らしを求めて—

不登校を含む社会問題を「心」の問題とする風潮について様々な角度からお話いただきます。

日時 2004年12月18日(土) 14:00~16:00

講師 小沢牧子氏 (日本社会臨床学会運営委員、和光大学オープンカレッジ講師)

「不登校をどう考えるか

—その子にあった出会いを求めて—

不登校児への理解と支援を継続的に行っておられる経験から、お話を伺います。

日時 2005年1月8日(土) 14:00~16:00

講師 廣木克行氏 (神戸大学発達科学部教授、登校拒否・不登校問題全国連絡会全国世話人、教育科学研究会全国委員)

* 参加費 無料

* 場所 大阪YMCA会館(大阪市西区土佐堀1-5-6)

【問合せ・申込み】

表現・コミュニケーション学科開設準備室

TEL 06(6441)1123

E-mail hyogen-com@osakaymca.or.jp

主催:大阪YMCA総合研究所

主管:大阪YMCA国際専門学校国際高等課程

後援:大阪市教育委員会・大阪府教育委員会

2005年4月「表現・コミュニケーション学科」新設

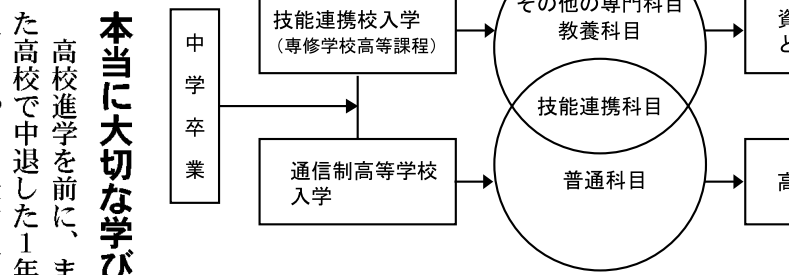
開設の背景
中学は不登校
だったけれど高
校では楽しく学
校生活を送りた
い。高校の卒業
資格も欲しい。
なによりも、自
分らしく生きた
い。これらの希
望を叶えるた
め、大阪YMCA
は新たに義務
教育修了者を対
象とした「表現・
コミュニケーション」を
立ち上げます。
現在土佐堀YM
CAでは、軽度

発達障がい(LD、AD
HD、高機能自閉など)
児対象のサポートクラ
スに100人以上の子
どもたちが来ています。
軽度発達障がいの子ど
もたちの数は全体の6.
4%という文部科学省
の数字がでましたが、こ
れらの子どもたちが高
校を選択する時には学
力的なことや対人関係
等様々な問題が起こり
ます。この現状にも、新
しい学科はチャレンジジ
ングしていくものです。

3本柱の
カリキュラム
一人ひとりのペー
ス
でゆったり学ぶため、カ
リキュラムには3つの
特色があります。1つに
は、グループワークを
おしてコミュニケーション
の向上をめざす体験学
習科目が週に1日。2つ
目は、選択科目として芸
術か情報を週に9時間

Y M C A 学院高等学校と技能連携
二つの卒業資格を取得
大阪YMCA国際専門学校

と、たつぷりとつ
てあります。これは
「創る」ことで自分
を解放し、好きなこ
とに取り組みむこと
により自分の可能
性を発見し、そこか
ら自信をつけてい
くことを目指すも
のです。3つ目の普
通科目は高校卒業
資格を得るための
ものですが、単に知
識習得だけを目的
にはせず、「学び方
を学ぶ」手法等を取
り入れます。

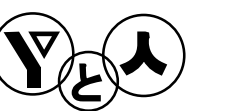


継続的な
カウンセリング
カリキュラム以外の特
色として、「スリーイン
ワン」という手法を挙げ
ることが出来ます。これ
はアメリカのゴードン・
ストークス等が考案した
ものです。顕在的・潜在
的ストレスは体・心・魂
に影響を与えますが、こ
のストレスの問題を特定
し、原因になってい
る否
定的な感情を解放して
いくことで自信を回復し
長
所を伸ばす、というもの
です。クラスの中では個
人セッションでストレス
の原因を特定することか
ら始め、一人ずつ丁寧な
カウンセリングをしてい
きます。

本心に大切な学び
高校進学を前に、ま
た高校で中退した1年
生をしつかり受け止め
ていきたいと12月から
事前相談、面接を中心
とした入学試験を始め
ます。高校卒業後長い
人生を生きていくため
に、本心に大切なもの
「人と関わって生きるこ
と」を求めて、生徒と共
と」を求めて、生徒と共
に歩む学科です。1学
年30人の小さな学科で
は、関わる全ての教職
員とボランティアがあ
たたかいまなざしを注
ぎ、一人ひとりを受け
止め、お互いに良い出
会いの場となることを
期待しています。

「安全の日」キャンペーン
入賞作品決定!
多数のご応募ありがとうございました。
【入賞】
作文 上殿千晴(北摂Y小2)
絵・ポスター 松島功祐(徳島Y小3)
阪倉ハイレ出(国際専門学校高等課程)
【激励賞】
作文 栢尾茉莉奈(北摂Y小2)
横山明日香(北摂Y小3)
埜口朋希(北摂Y小5)
俳句・標語 伊藤玲子(河内メネット)
今井利子(なかのしまクラブ)
高橋 暁(土佐堀Y)
久保圭司(土佐堀Y)
絵・ポスター 松島 徹(徳島Y小1)
松島 光(徳島Y小1)
山内 玲(国際専門学校高等課程)
土井恵丞(国際専門学校高等課程)

「安全の日」キャンペーン実施にあたり、下記のワイズメンズクラブからご寄付いただきました。この寄付金は、安全啓発のための安全キャンペーン作品募集、キャンペーングッズ作成、安全研究会、講習会開催等の費用に使わせていただきます。感謝をもってご報告させていただきます。
大阪茨木ワイズメンズクラブ
大阪サザンスカイワイズメンズクラブ
大阪ワイズメンズクラブ
大阪千里ワイズメンズクラブ
大阪豊中ワイズメンズクラブ
大阪河内ワイズメンズクラブ
(2004年9月30日現在)



8月に長崎で
開催された第8
回日中YMCA
青年友好平和セ
ミナーに参加さ
れた堺YMCA
ユースボラン
ティアリーダー
の農端友子さんに、セミ
ナーに参加した感想と夏
の活動についてお伺いし
ました。
現在大
学3年生
の農端さ
んは、リ
ーダーを
始めて3年
目。これま
では主に
野外活動
を中心と
活動されて
います。今
年度に入り
国際交流の
プログラム
に興味を持
つようにな
り、紹介さ
れた日中Y
MCA青年友
好のメンバ
ーやリーダー
と会い、今
回は、日本
から27名、
中国から12
名の青年が
参加し、日
本と中国の
YMCAに連
なる青年た
ちにできる
こと何かが
、をお互い
の交流を深
めながら、
探って
農端さん
は夏のセ
ミナーに参
加して、平
和に関す
る活動にも
意欲
をもち、
参加し
たいと
話され
ました。
「セミ
ナーは、
言葉が通
じなくて
も、思い
は通じると
感じ、積
極的に行
動できる
ようにな
りました」と
農端さん
は、お話し
しています。
野外リー
ダーとして
の活動に加
え、平和に
関する活動
もしていきたい
と、世界に
つながるY
MCAリー
ダーとして
今後のさら
なる活躍を
期待してい
ます。(編集室)



堺YMCA
ユースボランティアリーダー
のばともこ
農端友子さん
国際交流プログラムに
参加して、平和に関す
る活動にも意欲
をもち、参加
したいと話され
ました。